

防虫剤の誤飲



防虫剤の季節ですね。。。

もしもお子さんが口にしてしまったとき・・・

吸収をはやめることになるため、**とにかく牛乳は飲ませてはいけません。**

口にした防虫剤の種類によってとるべき対応が変わります

防虫剤	主な症状	対処法
カンフル(樟脳)	嘔吐、皮膚の紅潮、ほてり、頭痛、痙攣、興奮	吐かせてはいけません。 ぬるま湯コップ一杯をのませ、受診。 なめた程度なら様子を見る
ナフタリン	嘔吐、発熱、多汗、顔面紅潮、腹痛、下痢	ぬるま湯コップ一杯をのませ、できれば吐かせてから受診。 なめた程度なら様子を見る
パラジクロルベンゼン ピレスロイド系	食べて一時間位して、嘔吐、腹痛、下痢、だるさ	できれば吐かせて様子を見る
蚊取りマット	大量に食べたときには嘔吐、腹痛、下痢	1, 2枚なら様子を見る

*これらの対処法は応急処置です。いつもと様子が違ったら必ず専門医を受診して下さい。

✚ どの種類の防虫剤かわからないとき

防虫剤を 60～70℃のお湯に入れてください。

カンフル …浮かびます

ナフタリン(ネオパース、など) …沈んで溶けない

パラジクロルベンゼン(ネオパラ、パラゾール、など)

ピレスロイド系(わらべ、ムシューダ、ゴン、など) …溶けます

ちなみに・・・

たばこは一本に含まれるニコチン量が幼児の致死量になってしまいます

たいていは吐くために、大事には至らないケースが多いですが、個人差が大きく重症の場合には激しい腹痛と呼吸麻痺が生じます。とにかく吐かせてみましょう。四時間たっても異常がなければまず安心です。たばこ中毒 110 番 06-6875-5199 (通話料)

毒物、中毒に関するお問い合わせ (24 時間対応で年中無休)

大阪中毒 110 番 0990-50-2499

(一分あたり 100 円の情報料+通話料が掛かります)